

特定保守管理医療機器

販売名：MOT-5700電動油圧手術台

＊ 【警告】

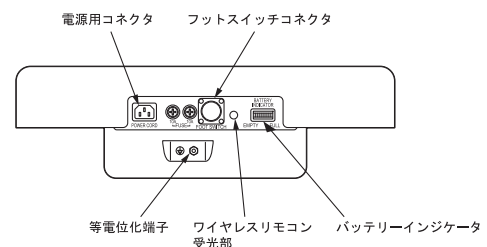
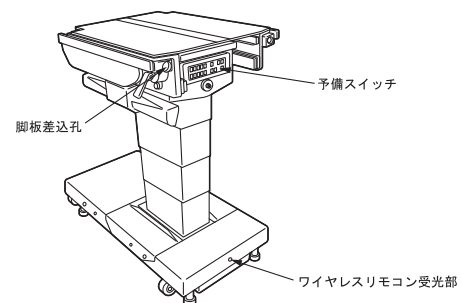
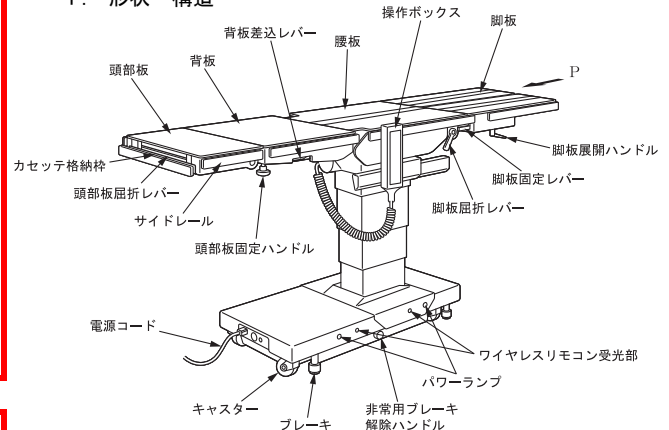
1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折又は付属品で支持するときは、常に患者の状態を監視すること。【長時間の体位は神経麻痺や褥瘡の原因になります。】
2. 使用前に電磁的影響による誤作動の有無を確認すること。
【併用する他の医用電気機器から、電磁的影響による誤作動が発生することがあります。】
3. 他社製手術台アクセサリ等を取り付けて使用するときは、ご購入店又は弊社に相談すること。【手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。】
4. 併用する機器やアクセサリを使用するときは、当該機器の添付文書又は取扱説明書を読んで影響を確認すること。【誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリに悪影響を及ぼします。】

＊ 【禁忌・禁止】

1. 手術台の設置
手術台を設置するときは、次の事項をしないこと。
[転倒すると死亡又は重傷事故につながります。]
1-1 凹凸のある床面に設置すること。
1-2 位置を高くするために、ベースの下に当て物をいれること。
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすことがあります。]
3. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスのコードを無理に引っ張ったり、強い衝撃を与えたりしないこと。[操作ボックスが破損して操作ができなくなります。]
4. ブレーキ解除
患者を乗せた状態でブレーキ解除をしないこと。[患者が転落することがあります。]
5. 操作中の作動部
手術台を操作中、屈折操作中の背板と腰板の隙間に手を入れないこと。[手や指を挟んで怪我をすることがあります。]
6. テーブルトップの手動操作部
6-1 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないこと。
[手術台が転倒することがあります。]
6-2 患者をベッドから移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。[頭部板又は脚板が変形又は破損することがあります。]
7. 改造の禁止
手術台を分解又は改造をしないこと。
[故障の原因になります。]
8. 手術台に患者を乗せるとき
頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。
[脚板が破損することがあります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



商品コード	商品名
08-007-01	手術台MOT-5700型マット付
08-007-05	手術台 MOT-5700型本体のみ

取扱説明書を必ずご参照下さい。

* 2. 電気的定格

定格電源電圧	: AC100V (08-007-11・15)
定格電源周波数	: 50-60Hz
電源入力	: 450VA
バッテリー電源電圧	: DC24V

* 3. 機器の分類 (JIS T 0601-1:1999)

電撃に対する保護の形式による分類: クラス I 機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類: B 形装着部
本製品は EMC 規格 JIS T 0601-1-2: 2002 に適合

4. 外寸・質量

テーブルトップ寸法	2080 mm (長) × 500 mm (幅)
ベース寸法	1000 mm (長) × 480 mm (幅)
質量	330 kg

5. 作動原理

電動油圧手術台は、オイルタンク・ポンプモーター・ミニバルブ・リリーフバルブ・シリンダーの油圧機器で構成しています。
操作ボックスのコントロールによってポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油を作動する機能のミニバルブを介してシリンダーへ送ります。
シリンダーが作動をすると、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動するので、手術台が作動します。
シリンダー内の作動油が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動が停止します。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、手術が必要な部位の大部分に適応するよう改良された完全移動型手術台（汎用）であり、コンセント電源式・電池電源式の併用式のものであります。

【品目仕様等】

1. 機能

電動

① 昇降範囲	最高位	: 1000 mm
	最低位	: 520 mm
② 縦転角度	頭下がり	: 25°
	頭上がり	: 25°
③ 横転角度	右下がり	: 35°
	左下がり	: 35°
④ 背板屈折角度	上がり	: 75°
	下がり	: 35°
⑤ スライド量	頭方向	: 240 mm
	脚方向	: 360 mm
⑥ フレックス（への字）	逆フレックス（逆への字）	
⑦ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／フレックス	
* ⑧ その他	ブレーキ固定／ブレーキ解除	
⑨ 操作機器	操作ボックス／予備スイッチ	

手動

① 頭部板屈折角度	上がり	: 60°
	下がり	: 100°
② 脚板屈折角度	下がり	: 90°
③ 脚板展開角度	左右各	: 50°（第一関節）
	左右各	: 40°（第二関節）
④ 取り外し	頭部板／背板／脚板（左右）	
⑤ 非常用ブレーキ解除ハンドル		

2. 外観

目視検査にて表面に機能を損なうような欠陥又は汚染物を認めないこと。

【操作方法又は使用方法等】

詳細な操作方法は取扱説明書をご参照下さい。

1. 電源の入れ方（使用前）

- 1-1 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差込みます。
- 1-2 操作ボックスの ON/OFF スイッチを押すと操作ボックス及びベースのパワーランプが点灯して電源が入ります。（バッテリー使用時は操作ボックスのバッテリーランプも点灯します。）

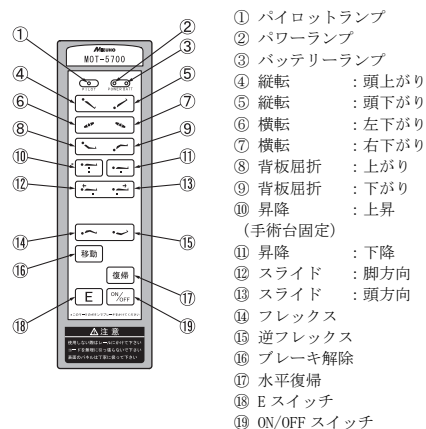
* (注)消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、電源を入れてください。

* 2. 電源の切り方（使用后）

操作ボックスの ON/OFF スイッチを押すと操作ボックス及びベースのパワーランプが消灯して電源が切れます。（バッテリー使用時は操作ボックスのバッテリーランプとベースのバッテリーインジケータも消灯します。）

3. 操作ボックスの使い方（使用中）

操作ボックスは各機能スイッチと E スイッチを同時に押します。スイッチを押す間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。（下図参照）



* 4. バッテリー充電のしかた

- 4-1 電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込みます。
- 4-2 充電中、バッテリーインジケータ（赤・黄・緑）が(赤)側から(黄)まで順に点滅します。
- 4-3 充電が完了するとバッテリーインジケータ（赤・黄・緑）が(赤)側から(緑)まで順に点滅します。

【使用上の注意】

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照下さい。

* 1. 警告

- ① 頭部板固定ハンドル並びに脚板固定レバー、脚板展開ハンドル、脚板屈折レバーは必ず締めてください。ゆるんだ状態では頭部板並びに脚板が動いて、患者に障害がおきるおそれがあります。
- ② 患者を固定するベルトを締めるときは、必ず背板差込レバーに接触しない状態で締めてください。背板差込レバーに接触した状態で締めると、差込レバーが押されて背板が外れることがあります。

* 2. 注意

- ① 非常用ブレーキ解除ハンドルを回したら、必ず下記の操作を実施してください。下記の操作をしないと、手術台のコラムを固定できません。
 - ①-1 非常用ブレーキ解除ハンドルを LOCK 方向に回します。
 - ①-2 操作ボックスでブレーキ解除の操作を実施してください。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- ② 非常用ブレーキ解除ハンドルを UNLOCK の状態で、縦転・横転などの機能を操作しないでください。テーブルトップが作動して、患者が転落するおそれがあります。
- ③ 脚板が完全に差し込まれていることを必ず確認してください。脚板が動くとは患者に障害がおきるおそれがあります。
- ④ 使用条件によってバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週 1 回充電(週末の充電)を行って下さい。
- 充電満了まで最長で 10 時間程度掛かります。
- ⑤ 手術台使用後に手術台下部のバッテリーインジケータが(赤)のみ点灯している場合は、直ちに充電して下さい。
- 充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリーでのご使用はできなくなります。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 設置環境

JIS T 0601-1 医用電気機器

—安全に対する一般的要求事項 : 環境条件

周囲温度範囲 : 10℃～40℃
相対湿度範囲 : 30%～75%
気圧範囲 : 700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合: 10 年(※)

[自己認証(弊社データ)による]

※耐用期間内であっても、使用状況または使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。

但し、一般市販品の部品については、製造元の事情(製造期間終了・製造中止等)により、耐用期間内であっても部品供給に

よる交換ができなくなる場合があります。

3. 定期交換部品

部品名	交換時期
バッテリー	2～3 年
操作ボックス	4～6 年
キャスター	5～7 年
ブレーキゴム	3～5 年
電源コード	5～7 年

- * ※上記は目安の期間です。
使用条件により交換時期が変わります。

【保守・点検に係わる事項】

<使用者による保守点検>

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施してください。

1. 使用前の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損がないか。
- ③ 油漏れ
床またはコラム表面に作動油が付着していないか。
- ④ 電源コードおよび電源プラグ
導線の露出または電源プラグの破損がないか。
- ⑤ バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。

- * ⑥ 電源スイッチ
操作ボックスの ON/OFF スイッチを押して、操作ボックス及びベースのパワーランプが点灯するか。

- ⑦ 操作ボックスおよび予備スイッチ
操作ボックスのスイッチおよび予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。
- ⑧ テーブルトップのガタ
背板両端を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2. 使用後の点検事項

- ① マットレス
すべてのマットレスに破損または汚れがないか。
- ② テーブル板
すべてのテーブル板に破損または汚れがないか。
- ③ 油漏れ
床・脚台表面に作動油が付着していないか。

3. 清掃・消毒の手順

- 3-1 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外します。
- 3-2 使用する消毒剤の表示又は説明書の内容を確認してください。
- 3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭してください。

<業者による保守点検>

1. 定期点検

本装置を安全に使用するために、1 年に 1 回の業者による定期点検を実施してください。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

* 2. 修理・調整

修理及び調整は弊社及び弊社が認めた修理業者のみが実施可能です。それ以外の業者による修理、調整や保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。本装置が故障したと思われるときは、後述の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

2-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

2-2 本装置に「故障」「使用禁止」「修理必要・点検必要」等の適切な表示をしてください。

【包装】

1 台 1 包装

【保証期間に係わる事項】

本品は納品/設置してから 1 年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者: ミズホ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 30 番 13 号

TEL 03(3815)3097

製造業者: ミズホ株式会社千葉工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。